

よく読んで手順通りに作業しましょう！ 『③の暗証番号の設定を完了するまで』ハンドルは空回りします

Code-It 取付説明書

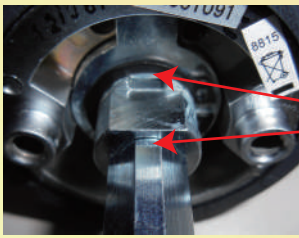
- プログラミングコードを設定する。
- コードイットをドアに取り付ける。
- 暗証番号を設定する。
- 施錠モードを設定する。(出荷時は手動モード)
- ボタン操作音を設定する。(操作音のオン・オフ)



1 <プログラミングコードの設定>

- ①スピンドルを下向きにして1と4のボタンを同時に押す。→LEDが赤く点滅します。
- ②ボタンから指を離すとLEDが緑色に点灯します。
- ③6桁の任意の番号を打ち込むと緑色のライトが素早く点滅。
→以上で設定完了
- 注意：プログラミングコードはハンドルを取り付ける前でないとい設定出来ません。後日プログラミングコードを変更する時は上記の手順を繰り返して下さい。
*プログラミングコードは設定作業用で解錠操作は出来ません。
- ロックボタン
- 写真の様にスピンドルが下向き

2 <ドアにコードイットを取り付ける>

- 
- トラックポイントを上向きにする
- ①先に内側ハンドルに付属のネジを差し込む。ドアの厚さに合わせてネジ・スペーサーを選ぶ。
*裏面の「取付時の注意」参照ください。
- ②表側ハンドルのトラックポイントを合わせスピンドルを錠ケースに差し込む。
- ③内側ハンドルを入れネジで表側ハンドルを固定する。 →以上で取付完了
- 注意：ドアの厚さに合わせて付属のネジを選びハンドルを水平に固定し、ハンドルが自在に動くか確認する。

3 <暗証番号の登録>

- ①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。
赤ライト：点滅→消灯→点灯
- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。→LEDが緑色に点灯。
- ③1のボタンを押す。→消灯→LEDが緑色に点灯。
- ④5秒以内に任意の4～6桁の暗証番号を打ち込む。
- ⑤6桁入力後に緑点滅 & ピピッと音がして登録完了。
*4桁・5桁の場合は3秒後に緑点滅とピピッ音で完了。
→緑のLEDが点灯状態 → 数秒後に消灯します。
(ロックボタンを押すとすぐ消えます)
- メモ：暗証番号は最大9種登録可能です。
③の操作で1のボタンを2回押せば番地2に登録出来ます。4桁・5桁・6桁で暗証番号は登録出来ます。
- ロックボタン

4 <自動施錠・手動施錠の設定>

- *出荷時初期設定は手動施錠です。
- ①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。
赤ライト：点滅→消灯→点灯
- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。→LEDが緑色に点灯。
- ③3のボタンを押す。→ピピッと音と共にLEDが緑色に点灯し消灯。→設定完了。
- *3を押すたびに自動と手動が切り替わります。
長めのブザー→手動モード 短めのブザー→自動モード (ピー) (ビビ)
- ◆一時モード：自動モードで運用している時に一時的に手動モードにする事が出来ます。→暗証番号を押した後に3秒以内に1と4のボタンを同時に押す、或いは10秒間ハンドルを下げると一時的な手動モードになります。ロックボタンを押すと施錠され自動モードに復帰。
- 3のボタン

5 <ボタン操作音の切り替え>

- *出荷時初期設定は鳴動です。
- ①ロックボタンを長押ししてプログラミングモードを起動。
赤ライト：点滅→消灯→点灯
- ②ロックボタンから指を離し5秒以内にプログラミングコードを打ち込む。→LEDが緑色に点灯。
- ③2のボタンを押す。→ピピッと音と共にLEDが緑色に点灯し消灯。→設定完了。
- *2を押すたびに消音と鳴動が切り替わります。
・長めのブザー (ピー) → 消音
・短いブザー (ビビビ) → 鳴動
- 2のボタン

間違った暗証番号が5回入力されると3分間使用停止モードになります。(その間、ロックボタンは5秒間隔で赤く点滅します)



商品を正しく ご使用いただくために

■ プログラミングコードとは？

- ・暗証番号の登録や自動・手動の切り替え操作に必要な6桁のコードです。ハンドルの1. 2. 3. 4 のボタンを任意に組み合わせて6桁のコードを設定する必要があります。
- ・ハンドルをドアに取り付ける前でないとは設定できません。
- ・登録方法は表面の 1 をご参照ください。
- ・プログラミングコードは暗証番号の変更に必要な大事なコードです。他人に知られないよう保管してください。商品出荷時には設定されていません。
- ・プログラミングコードを変更する場合はハンドルを取り外してから再設定してください。
- ・プログラミングコードは設定作業用で、そのコードでの解錠操作はできません。

■ 取付時の注意

- ・本商品には取り付け用ネジが2種類付属しています。扉の厚さに合わせてお使い下さい。室内側ハンドルのネジ穴に先にネジを入れてから取り付けるようにしてください。
- ・ネジの飛び出しは扉面から5～6mm ほどが最適です。
- ・ドアの厚さが32mm 以内の場合は別売りの3mm スパースーを使用してください。
- ・扉の厚さが50mm 以上の場合は別売りの厚扉用ネジ（90mm）をご使用ください。

■ 自動施錠・手動施錠（設定方法は表面の 4 を参照）

- ・自動施錠モードでは、扉を閉めるとハンドルは自動でロックします。開錠したが扉を開けなかった場合でも3秒後に自動でロックします。
- ・手動施錠モードでは、扉を閉めた後にロックボタンを押すとロックします。

■ 複数の暗証番号の設定

- ・本機は最大9種類のユーザー暗証番号を設定できます。（登録方法は表面 3 を参照）1のボタンで番地を設定します。番地1は1を1回、番地2は1を2回、番地5は1を5回押してから暗証番号を打ち込みます。
- ・通常使用では1～2種類の暗証番号を設定して使用してください。

■ 暗証番号の変更（表面 3 を参照）

- ・番地1の暗証番号を変更する時は1のボタンを1回押してから、新しい暗証番号を打ち込んでください。（この操作で暗証番号は新しくなり、以前の番号は使えなくなります。）

■ 暗証番号の削除（表面 3 を参照）

- ・番地1の暗証番号を削除する時は1のボタンを1回押してから、ロックボタンを押して下さい。

ご注意！ 暗証番号を1つしか登録していない状態で暗証番号を削除し、新しい暗証番号を登録する前に、誤って扉を外側から閉めてしまうと、開錠するための番号が1つもない状態になり、完全閉めだしとなります。開錠するには破錠しかありません。（保証対象外）暗証番号削除の際は、くれぐれもご注意ください。

■ ロックアウトモード

- ・誤った暗証番号を5回入力すると2分間ボタン操作が出来なくなります。ロックアウト時はLEDが赤色に点滅します。
- ・ロックアウトモード中でも正しい暗証番号を2回連続で入力することで解除することができます。

■ 乾電池（バッテリー）

- ・乾電池はデジカメなどに使われるCR2タイプの乾電池（2本）を使用しています。
- ・商品には乾電池が入った状態で出荷されます。
- ・乾電池の交換の際は、本機との相性で「TOSHIBA」の電池を強く推奨しております。
- ・反応が鈍くなったなど、故障かな？と思われた場合、まずは乾電池の交換をお試しください。「電池交換」で解決する問題がほとんどです。
- ・乾電池を交換してもハンドル内に設定した暗証番号等は保持されています。

■ 乾電池の交換方法

- ・乾電池はボタンの付いてるハンドル側に入っています。
- ・交換する場合は商品に付属している六角工具を使用してハンドル先端のフタを外し電池2個とも交換します。新しい電池を入れたら付属の工具でフタを元に戻します。

■ 安全にご使用いただくために

1. 電池を交換する時は、電池の＋と－の向きを正しくセットしてください。間違えて入れると使用出来ないだけでなく故障の原因になりますのでご注意下さい。（保証対象外）
2. 古い電池と新しい電池を混ぜないでください。新しい電池の寿命が短くなります。
3. メーカーの違う電池を混ぜて使用しない。故障の原因になります。（保証対象外）
4. ハンドルに強い力を掛けないでください。故障の原因になります。（保証対象外）
5. 掃除の時などに水に濡れた雑巾などでボタンに水を掛けしないでください。水がボタン内部に入ると故障の原因になります（保証対象外）
6. 本機は防水仕様では有りません。雨水・土埃等の影響のない室内でご使用ください。雨がボタン内部に入ると故障の原因になります（保証対象外）
7. ボタンを強く押し過ぎると故障の原因になります。（保証対象外）
8. 使用済み電池は、各市町村の廃棄方法 or 指示に従って適切に処分してください。